

信用格付判定シート

債務者区分	点数区分	定義
正常先①	90～100	正常先とは、業況が良好であり、かつ、財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者をいう。
正常先②	50～90	
要注意先①	40～50	要注意先とは、金利減免・棚上げを行っているなど貸出条件に問題のある債務者、元本返済若しくは利息支払いが事実上延滞しているなど履行状況に問題がある債務者のほか、業況が低調ないしは不安定な債務者又は財務内容に問題がある債務者など今後の管理に注意を要する債務者をいう。また、要注意先となる債務者については、要管理先である債務者とそれ以外の債務者とを分けて管理することが望ましい。
要注意先②	30～40	
破綻懸念先	20～30	破綻懸念先とは、現状、経営破綻の状況にはないが、経営難の状態にあり、経営改善計画等の進捗状況が芳しくなく、今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（金融機関等の支援継続中の債務者を含む）をいう。具体的には、現状、事業を継続しているが、実質債務超過の状態に陥っており、業況が著しく低調で貸出金が延滞状態にあるなど元本及び利息の最終の回収について重大な懸念があり、従って損失の発生の可能性が高い状況で、今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者をいう。
実質破綻先	10～20	実質破綻先とは、法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、深刻な経営難の状態にあり、再建の見通しが無い状況であると認められるなど実質的に経営破綻に陥っている債務者をいう。具体的には、事業を形式的には継続しているが、財務内容において多額の不良資産を内包し、あるいは債務者の返済能力に比して明らかに過大な借入金が残存し、実質的に大幅な債務超過の状態に相当期間陥っており、事業好転の見通しが無い状況、天災、事故、経済情勢の急変等により多大な損失を被り（あるいは、これらに類する事由が生じており）、再建の見通しが無い状況で、元金又は利息について実質的に長期間延滞している債務者などをいう。
破綻先	0～10	破綻先とは、法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者をいい、例えば、破産、清算、会社整理、会社更生、民事再生、手形交換所の取引停止処分等の事由により経営破綻に陥っている債務者をいう。

信用格付けチェックシート		計算式	前期計算結果	今期計算結果	配点	採点
1.安全性項目						
自己資本比率	企業の本来の体力を示します	$(\text{自己資本} \div \text{総資産}) \times 100$	38.7%	43.4%	15	5
ギアリング比率	資金調達のうち借入金の自己資本に対する割合を示しています	$(\text{負債} \div \text{自己資本}) \times 100$	132.0%	130.2%	5	1
固定長期適合比率	固定資産をどの程度長期資金で補えるかを示しています	$\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債}) \times 100$	70.8%	69.8%	5	3
流動比率	流動負債を流動資産がどの程度カバーできるか、つまり即資金化できるかを示しています	$(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	356.4%	319.2%	10	10
安全性項目点数					安全スコア	19
2.収益性項目						
売上高経常利益率	売上に対してどれだけ経常利益を上げているのかを示しています	$(\text{経常利益} \div \text{売上高}) \times 100$	-2%	2%	15	3
総資産経常利益率	資本投入によりどれだけ利益を生み出しているのか、資本の運用効率を示しています	$(\text{経常利益} \div \text{総資産}) \times 100$	-2%	4%	5	1
収益フロー	主に黒字が何期続いているのかを示しています（当期純利益ベース）		赤字	黒字	5	0
収益性項目点数					収益スコア	4
3.成長性項目						
経常利益増加率	当期末と前期末の経常利益を比較して業績規模がどれだけ拡大しているのかを示しています	$(\text{当期経常利益} \div \text{前期経常利益}) \times 100$	-162.0%		5	0
自己資本額	自己資本額が大きいほど財務的に安全と判断されます		89,650,663	96,894,943	5	2
売上高増加率	企業の成長力を示しています	$(\text{当期売上高} \div \text{前期売上高}) \times 100$	111.0%		5	1
成長性項目点数					成長スコア	3
4.返済能力						
債務償還年数	借入金を利益などによるキャッシュフローから何年で返済できるかを示しています	$\text{固定負債} \div \text{営業キャッシュフロー}$	11.2年	5.6年	10	3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	企業の利息の支払能力を示しています	$(\text{営業利益} + \text{金融収益}) \div \text{支払利息}$	-1.1	4.9	5	5
営業キャッシュフロー額	企業の返済原資能力を示しています	$\text{営業利益} \times 0.7 + \text{減価償却費}$	10,603,564	17,745,043	10	3
返済能力項目点数					返済スコア	11
合計スコア				37		